

こんなことができます!

環境を守ることが
各自の得になる
仕組みを考えます



日本・スウェーデン・
中国におけるペットボ
トルの自動回収機



環境を守ることが各自の得になる
仕組みについて研究しています。
例えば、小売店に使用済みのペッ
トボトルを持っていけばポイント
をもらえる、ごみ袋・レジ袋の使用枚数に応
じて手数料を払うといった取組があります。そ
れらのあり方を、高齢化の進行、地方の過疎
化などを踏まえつつ、様々な事例をもとに、理
論的・実証的・制度的に、経済学の立場から
探っています。

夢

各自が得になる行動をとる
ことで環境が守られる社会
を実現したい

経済経営学類

沼田 大輔

Numata Daisuke

准教授 博士(経済学)

研究室 URL

<https://www.ad.ipc.fukushima-u.ac.jp/~e023/>

専門分野

環境経済学、循環経済論

特許情報、著書、論文

沼田大輔 (2014) 『デポジット制度
の環境経済学—循環型社会の実現
に向けて—』勁草書房

具体的なご提案

環境を守る有効な方策を検討中の行政・企業・
NPOの皆さんのお話を学生と共に伺い、論理的で
実現可能な方策のあり方・効果の測定などを学生と
ともに考えて実践します。

これまでの取組事例

会津美里町における可燃ごみ削減・リサイクル増加
の方策の検討 (2016-2017 年度 会津美里町調査
研究助成金)

福島大学生生活協同組合における使用済み弁当容器
の回収方策の検討 (2009-2017 年度)

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農
経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

